

県産業賞に1個人2企業

科学技術賞に嘉山氏(前山形大医学部長)

県産業賞委員会は22日、県庁で審査会を開き、本年度の県産業賞を、タカハタ電子社長の安房毅氏(高畠町福沢)、酒田共同火力発電(酒田市、鈴木信次社長)、木造建築のシエルター(山形市、木村一義社長)の1個人2企業に贈ることを決めた。また県科学技術賞は、国立がん研究センター理事長で前山形大医学部長の嘉山孝正氏に贈呈する。

県産業賞と県科学技術賞は、功績が顕著な個人・団体の産業や科学技術の発展に貢献に贈られる。県産業賞は今年で39回目、県科学技術賞は21回目。贈呈式は11月3日に山形市の文翔館で行われる。



安房毅氏



嘉山孝正氏

功績と喜びの声

▽安房毅氏(県内主要商工団体の要職を務め、技術交流やものづくり生産技術の交流を推進するなど、県内製造業の技術力向上や人材育成に尽力。自社製品の開発にも積極的に取り組むほか、産学官連携の推進役としても大きな役割を果たし、本県産業の振興に貢献している。

安房氏の話 輝かしい賞をいただき、ありがたい気持ちとともに責任も痛感しているところだ。受賞は地域をはじめ、各界各層の方々や社員のおかげと深く感謝している。今後も微力ではあるが、さらに地域発展の一助となれるよう尽力していきたいと思っている。

タカハタ電子社長

安房毅氏

酒田共同火力発電

シエルター

▽酒田共同火力発電(環境保全に取り組み、石炭灰や石こうなどの廃棄物の再資源化を推進。高い安全管理基準で電力の安定供給という社会的

使命を果たすほか、酒田港の港湾施設を積極的に活用するなど「地域と共生するエネルギー企業」として本県の産業経済の発展に尽力する。

のあつた接合加工の標準化に成功。全国に普及し各地の大規模木造建築に採用されている。また県産木材の利用拡大に寄与するほか、若手建築家の育成にも力を入れている。

鈴木信次社長の話 思いもかけず栄誉ある賞を頂いた。公益的な事業とはいえ、発電事業を営む弊社が受賞したことは取り組みへの評価とともに、支えて下さる地域の方々のおかげと感謝している。今後

木村一義社長の話 県産業賞の栄誉を賜り、身に余る光栄だ。木造技術「KES構法」を開発し、住宅や公共建築物、市街地の木造耐火建築などま

▽シエルター(木造建築における接合金物構法「KES構法」を開発し、木造軸組工法で強度や完成度にばらつき

を抑制している。受賞を機に、県産材利用による森林整備や木造建築による街づくりに全力を傾注していく。

嘉山氏の話 このたびは思いもかけず栄誉ある賞を授与されることになり、大変な名誉だと思ふ。現在、日本は世界一の高齢社会だ。この問題を乗り越えるために、医療及び科学は成長産業になりつつある。山形県の科学、工業が国家戦略に益するように頑張りたい。

▽嘉山孝正氏(専門分野の脳外科領域で、先端医学分野の研究や臨床研究などで数多